



La・Book

1月号

No.151



新年あけましておめでとうございます
本年もよろしくお願い申し上げます



明科図書館の複合施設「ひまわり」に来たら南側から建物を見よう!

『この春から行われていた「明科子どもと大人の交流学習施設」の工事は順調に進み、平成14年12月初めより全容が現れた。』
今から22年前の広報に記載されていた「交流学習施設」の原稿の冒頭です。それによると、「南側（千才町側）からは『交流リング』と呼ばれるガラス張りの回廊を抱きかかえるような、施設の最も特徴的な様子を見ることが出来る」という記載があります。この「交流学習施設」は図書館と学習館と児童館が集まった複合施設でもあり、多くの人が集い、愛され、親しみを込めて呼んでもらえることを願い「ひまわり」という愛称に決定された（平成15年3月）。

「ひまわり」に来たら南側から建物を見てください。でも建物の特徴は南側だけではなく、それぞれの方向から見ても特徴のある魅力たっぷりの建物だと思います。それが広報の歴史からも分かりますから過去に遡ってみましょう。それによると、北側（明科支所側が正面玄関）はコンクリートの素地が協調された玄関と連なるいくつかの窓により独特なリズムを感じさせる造りである事、東側から北側までの外壁タイルの色は明科の風土や景色に「なじむもの」が選定された事、また腰壁（地面から目の高さ）には、日本古来の段々のついた「下見張り」という技法を模した構造を採用したデザインとなっている事など、明科らしさを取り込むと同時に日本の伝統を守ることも忘れない技法で建物が造られ、その時に出来ることを可能な限り結集させたことが感じられます。建物の南側には入口が無いので、「ひまわり」を利用される方は北側の正面玄関か東側の図書館入口を利用されますので、南側から建物を見る機会が少なくなっていると思います。時間に余裕を持って、是非とも南側から建物を見てください。「ひまわり」の最も特徴的な様子を見ることが出来る、という事を体感してください。そしてグルッと建物を一周。同じ建物とは思えないほど、見る向きにより趣を異にする不思議な建物だと分かるはずですよ。そんな魅力的な「ひまわり」内の明科図書館は現在改修工事中で休館とさせていただきます。令和7年2月1日（土）から開館予定ですので、今しばらくお待ちください。改修工事完了後に皆様のご来館を心よりお待ちしております。

☆おはなし会☆ 安曇野市図書館2月のイベント予定

開催図書館	おはなし会名（対象）	開催日／時間等
中央	おはなしのとびら（乳幼児以上） おはなしとしょかん特別版	5.19.26日／10:30～ 詳細は講座の表をご覧ください
豊科	おはなしたんぽぽ（乳幼児以上）	21日（金）／11:00～
三郷	ポケットの会（乳幼児以上） おはなし会（乳幼児以上）	15日（土）／10:30～ 27日（木）／11:00～
堀金	おはなしのへや（乳幼児以上） おりがみのへや（幼児以上）	18日（火）／10:30～ 26日（水）／16:30～
明科	おはなしひまわり スペシャル	詳細は講座の表をご覧ください

◆講座など◆

会場・お問合せ先	講座名	開催日時等
中央図書館（みらい）	映画上映会 「いぬのえいが」 ※聴覚障害者用字幕付 約96分	2/14（金） 開演 18:00（開場 17:30）
	おはなしとしょかん特別版 絵本作家 まるやまあやこさんといっしょだよ♪	2/16（日） 10:00～11:30 対象：年長、小学1・2年生親子 申込：20組（1/28～受付）
堀金図書館	わくわく講座② 「マジックスティックを作ろう」	2/18（火） 16:30～17:30 対象：幼児～小学生（未就学児保護者付） 申込：10組（1/29～受付）
明科図書館（ひまわり）	おはなしひまわり スペシャル ～明科図書館 リニューアル記念～	2/22（土） 11:00～11:30 対象：乳幼児以上（保護者同伴） 定員：当日先着 30組

中央図書館から

本のソムリエ(司書)おすすめ本

一般書

『スナーク狩り』

ルイス・キャロル／作 集英社

表紙

「アリス」の作者であるルイス・キャロルが書いたノンセンスな冒険の物語に、「ムーミン」の作者のトーベ・ヤンソンがかわいくてちょっぴりブキミな絵をつけた夢のような本。スナークを捕まえるために船長のベルマンのもとに集まったのは、ちょっとおかしな8人と1匹。

上陸した島でスナークを探す一行ですが、その旅の結末とは。

児童書

『シロクマが家にやってきた!』

マリア・ファラー／作 あかね書房

表紙

ある日とつぜん、家にシロクマがやってきた。こわくてびっくりしながらも、親にみつからないように世話を

焼いてあげるアーサー。

家族や友達を巻き込んでのドタバタ劇。障害のある弟との変化する関係に心があたたまります。さいごのページ「ホッキョクグマのひみつ」もおもしろいです。

12月の貸出ランキング

一般書

- 1 透明な螺旋／東野圭吾
- 2 成瀬は天下を取りにいく／宮島未奈
- 3 #真相をお話しします／結城真一郎

児童書

- 1 バムとケロのさむいあさ／島田ゆか
- 2 クリスマスのかくれんぼ／いしかわこうじ
- 3 どうぞのいす／香山美子

AV資料

- 1 ANTENNA／Mrs. GREEN APPLE
- 2 ハリー・ポッターと賢者の石／クリス・コロンバス
- 3 アイス・エイジ3／ティラノのおとしもの 特別編／カルロス・サルダーニャ

編集・発行・お問い合わせ



中央図書館 ☎84-0111
豊科図書館 ☎71-4022
三郷図書館 ☎76-3078
堀金図書館 ☎72-3601
明科図書館 ☎62-1122

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)
<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho>

豊科図書館

奮闘!?調べもの日記(レファレンス)

『江戸の出版王 蔦屋重三郎』

2025年の大河ドラマ『べらぼう〜蔦重栄華乃夢噺〜』の主人公は“蔦重”こと蔦谷重三郎です。「浮世絵黄金期」と呼ばれた江戸時代に、版元として活躍しました。版元とは出版社と書店を兼ね備えた職種で、蔦重自ら編集と出版プロデューサーの役割を果たしました。出版業者として後世にまで名を残したのは、歌麿や写楽、十返舎一九など江戸文化を代表する人たちの才能を引き出したからと言えます。

吉原育ちの蔦重は、両親の離縁により養子に生まれ、成長して引手茶屋の一角で小さな書店を営みます。その後わずか十年ほどで江戸の中心・日本橋に進出します。大衆的な娯楽本と浮世絵の出版を手がけ、多くの作者・絵師・職人を抱え、話題を呼ぶ刺激的な作品を出版しました。幕府を敵に回して財産の半分を没収されても、逆境を乗り越えて面白さを追求し続けます。

豊科図書館の1月の展示テーマは「蔦谷重三郎ゆかりの人々」です。江戸時代についての本や写楽や歌麿の本も集めていますので、是非ご覧ください。

【参考図書】

- ・蔦屋重三郎と田沼時代の謎／安藤優一郎／PHP研究所
- ・蔦谷重三郎 江戸を編集した男／田中優子／文藝春秋
- ・蔦谷重三郎と江戸文化を創った13人／車浮代／PHP研究所
- ・これ1冊でわかる!蔦谷重三郎と江戸文化／伊藤賀一／Gakken
- ・大河ドラマ「べらぼう〜蔦重栄華乃夢噺〜」
(NHKホームページ)

<https://www.nhk.jp/p/berabou/ts/42QY57MX24/>

【1月の企画(テーマ)展示】

◎全館

バリアフリー用品展示 1/5(日)~1/30(木)

○各館

図書館	一般書	児童書
中央	江戸の出版物・メディア	せっかく冬なんだから
豊科	蔦屋重三郎ゆかりの人々	大人になったら何になりたい?
三郷	蔦重 江戸の出版王と取り巻く人々	へびどし
堀金	初笑い	だるま
明科	※12/1~1/31 施設改修工事のため休館	

※編集後記※

新年、明けましておめでとうございます。新しい一年の始まりです。新しい「今年」は、こんなことをしてみたい、今年こそこころなりたい、など、決意も新たに今年の目標を掲げた方も多いと思います。目標に向かって継続的に取り組む、勇往邁進(ゆうわうまいしん)する、というまいしん(まいしん)する一年を送るツールの一つとして、図書館を使ってみてはどうでしょうか。読みたい本を探し、わからない事を調べ、目当ての本を借り、そして極めてください。目的に合った活用をすることで、新しい発見などがあるかもしれません。今年も安曇野市の各図書館で、皆様のご利用をお待ちしております。本年も宜しくお願い致します。

★文字の読書が困難な方は、図書館へご相談ください★